

地方独立行政法人京都市産業技術研究所
担当：知恵産業融合センター
電話：3 2 6 - 6 1 0 0
京 都 市 産 業 観 光 局
〔取次：新 産 業 振 興 室〕
〔電話：2 2 2 - 3 3 2 4〕

第5回平成29年度知恵創出“目の輝き”成果発表会 (併催：京都市産業技術研究所研究成果発表会) について

この度、(地独)京都市産業技術研究所(以下、「当研究所」という。)では、当研究所が技術支援等を行い、「伝統技術と先端技術の融合」や「新たな気づき」といった知恵産業をキーワードに製品化・事業化に結び付いた企業4社を「知恵創出“目の輝き”企業」として認定し、下記のとおり、認定証の授与式及び成果発表会を開催しますので、お知らせします。

また、当研究所の研究成果発表会も併せて開催しますので、多数の御参加をお待ちしております。

記

1 日 時

平成29年10月31日(火) 14時～17時(受付13時30分～)

(※交流会(希望者のみ): 17時15分～19時)

2 場 所

からすま京都ホテル(京都市下京区烏丸通四条下る)

3 内 容

成果発表会

14:00 主催者挨拶 西本 清一 (地独)京都市産業技術研究所理事長

来賓挨拶 門川 大作 京都市長

来賓挨拶 立石 義雄 京都商工会議所会頭

来賓挨拶 渡邊 隆夫 京都ものづくり協力会会長

授 与 式 「知恵創出“目の輝き”企業」の認定(授与者…西本理事長)

表 彰 式 当研究所優良職員表彰(表彰者…西本理事長)

15:00 認定企業4社による成果発表

株式会社エヌエヌジー 「シリカモノリスの特性に着目した据置型アロマディフューザーの商品化」

黄桜株式会社 「乳酸菌を用いた酒母製造技術と、計測技術を活用した新しい醸造プロセスの開発」

株式会社広海 「化学薬品を一切用いない絹織物防縮加工技術の実用化」

ヤマナカヒューテック株式会社 「環境負荷が少なく低コストな酸化ガリウム製造法の開発」

- 15:50 (地独)京都市産業技術研究所による研究成果発表
 <職員表彰受賞者発表>
 「産技研100周年モニュメントにおけるデザイン開発」 木戸 雅史
 <研究成果発表>
 「文化財の伝世品及び建造物の分析・解析技術を用いた 島村 哲朗
 修復技術の提供と複製品作製へのアプローチ」
 「グロー放電発光分析法 (GD-OES) による水素分析技術」 丸岡 智樹
 「放射放熱型セラミック絶縁基板の評価技術」 荒川 裕也
 「画像相関法を用いた触感センシング手法の提案」 廣澤 覚
 「京都独自の乳酸菌ライブラリーの特性解析」 和田 潤
 「京都発 KEEPNEX®めっき技術を活用した SiC パワーデバ 山本 貴代
 イス用高耐熱実装技術の開発」
 「新たな「京もの」開発の事例紹介」 比嘉 明子
 「看護、介護現場で活用可能な機能性繊維の開発による 緒方 規矩也
 快適空間の創造」
- 16:55 主催者挨拶 森川 佳昭 (地独)京都市産業技術研究所副理事長

交流会

17:15 (希望者のみ／～19:00)

4 参加費 無料

ただし、成果発表会終了後の「交流会」参加希望者は3,000円必要。(当日徴収)

5 申込方法等

- (1) 募集期間 9月19日(火)～10月24日(火)
- (2) 申込方法 催し名、氏名、電話番号、勤務先、部署、役職、交流会参加の有無を明記のうえ、FAX又はE-Mailでお申込みください。
- (3) 申込先 (地独)京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター
 FAX: 075-326-6200
 E-Mail: event_chie@tc-kyoto.or.jp

6 主催 (地独)京都市産業技術研究所

7 共催 京都市、京都ものづくり協力会、京都商工会議所

8 後援 近畿経済産業局、京都産業育成コンソーシアム、京都産学公連携機構、
 (公財)京都高度技術研究所、(公財)京都産業21、(一社)京都経済同友会、
 (公社)京都工業会、京都府中小企業団体中央会、京都リサーチパーク(株)、
 京都工芸繊維大学

(参考)「知恵創出 “目の輝き”」企業認定の概要

1 認定対象

- 伝統技術と先端技術の融合事例となる製品化・事業化を行った企業・団体
- 「新たな気づき」により、製品化・事業化等に結び付いた企業・団体
- 当研究所の技術指導及び相談業務を通じて、製品化・事業化等に至った企業・団体

なお、認定に当たっては、京都の知恵産業を推進する産業支援機関等で構成する「知恵産業推進有識者会議^(※)」の意見を参考に選定しています。

※「知恵産業推進有識者会議」構成員

京都商工会議所，（公財）京都高度技術研究所，（公社）京都工業会，京都工芸繊維大学

2 認定企業

○ 株式会社エスエヌジー：「シリカモノリスの特性に着目した据置型アロマディフューザーの商品化」



主に分離分析用材料等に使われるシリカモノリス（多孔質体）の、優れたオイル吸収性能と長時間・高濃度での徐放性能、またオイルを吸収した際に白色不透明から透明に変容する固体の特性に着目し、透明になると表面の絵柄に裏面の絵柄が現れるデザインの据置型アロマディフューザー（ポーラスクォーツ[®]）を商品化した。

開発に際し、産技研の持つプロダクトデザイン力や切削加工技術、京焼・清水焼の絵付け技術がいかされている。

○ 黄桜株式会社：「乳酸菌を用いた酒母製造技術と、計測技術を活用した新しい醸造プロセスの開発」



中小企業庁の研究プロジェクト「世界市場を開拓する S a k e ・大吟醸生産システムの革新」に産技研とともに参画し、清酒造りに最も適した乳酸菌の選抜及び培養条件の検討を行うとともに、従来杜氏の勘に頼っていた醸造プロセスの一部をバイオ計測により数値化することで、酒質の向上につながる新しいプロセス技術を開発した。その技術を用いて特別純米酒「のろし」を製品化、今後は大吟醸等の高付加価値製品の国内外需要に対応していく。

○ 株式会社広海：「化学薬品を一切用いない絹織物防縮加工技術の実用化」



絹織物は他の繊維と異なり、防縮性を付与するために行う一般的な化学処理では効果が少なく、簡便に高い防縮性を与える方法が無かったが、化学薬品を一切用いずに絹織物に高い防縮性を付与する技術を産技研から技術移転によって実用化し、ブランド名「Shrink-proofTM」として実施している。和装品の着用時や保管時における吸湿・吸水等による縮みのトラブル削減に寄与している。

○ ヤマナカヒューテック株式会社：「環境負荷が少なく低コストな酸化ガリウム製造法の開発」



半導体用高純度液体材料製造技術をコア技術に、希少金属であるガリウム（Ga）系材料の開発を検討し、環境負荷が少なく低コストの酸化ガリウム粉末製造法を開発した。

従来の、大量の廃液生成の原因となるアンモニアを用いた中和法ではない熱分解による新たな製造法で、自社が有する高純度製品製造技術と、産技研が有する粉体ハンドリング技術、粉体評価技術との融合により実用化に至った。

3 認定企業への支援策

当研究所による技術支援や研究所内ショールーム「京乃TANA」での製品展示のほか、京都市の各種支援制度*の支援対象企業の候補になることができます。

※ 京都市の支援制度（市内に本店、支店、営業所、工場、その他事業所を有する中小企業であることが条件）

- ・ 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業創出支援事業（海外展開支援）
- ・ 企業立地促進制度
- ・ 京都市ベンチャー購買新商品認定制度
- ・ 研究開発・市場調査等に係る補助金
- ・ 融資（京都市関連認定制度資金）
- ・ 販路開拓支援事業（展示会出展補助金）
- ・ 企業ブランド力強化支援事業 など

お問合せ先

京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター（担当：吉武，吉岡）

TEL：075-326-6100 FAX：075-326-6200

住 所：〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町9-1 京都リサーチパーク 9号館南棟

(URL：<http://tc-kyoto.or.jp/>)